

医薬品製造業における動作の反動無理な動作災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
2	9~10	洗びん室で、洗びん作業中に、容器を入れるケースを床から1m位持ち上げて台にのせる時に腰をひねって痛めた。	48	10~29
3	0~1	蒸気元バルブが操作しにくい場所（タンク防油堤の向こう）にあり、そのバルブを操作する為に防油堤の上に右足をかけ、乗り越えようと体重をかけた際に右足首を捻り、右足第1~3中足部を負傷した。	57	100~299
4	10~11	本社工場内にて包装作業中、製品が入ったコンテナを持ち上げ移動させようとした際に腰を痛めた。	42	100~299
10	20~21	9号棟洗瓶充てん室にて、スモークテストを実施していた。少し腰に違和感が出たが作業を継続していた。帰宅後に少し腰の痛みを感じた為、週末は自宅でシップを貼って様子を見ていた。スモークテストは長さ約2m（重さ1kg弱）の筒状の器具をアイソレーターグローブにて数分待ち、10分程休んで繰り返す作業。後日腰痛軽減しなかった。仙腸関節炎と診断された。	33	300~499

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html